

2019年9月18日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

「第10回 データビジネス創造コンテスト」結果発表 ～富山国際大学附属高等学校「メディア・テクノロジー部 雨ニモ風ニモ負けない色白ガールズ」が最優秀賞を受賞～

慶應義塾大学 SFC 研究所データビジネス創造・ラボ（代表：村井 純）は、株式会社電通のサポートのもと、「第10回 データビジネス創造コンテスト ～Digital Innovators Grand Prix 10（略称：DIG 10）」本選発表会・審査会・表彰式を9月7日（土）に開催しました。

1. 趣旨

本コンテストは、全国の高校から大学院に通う生徒・学生を対象として、動画や音声といったメディアの視聴動向情報等を参加者に提供し、未来のメディアのあるべき姿の提案を求めました。データ活用がもたらすビジネス機会がますます増える中、テクノロジーやデータを活用できる人材が不足しているために、解決されていない課題がたくさんあります。本コンテストでは、幅広い年代の学生たちに、データ分析を通じて社会課題への理解を深め、解決策を提案する機会を提供します。その結果、データを活用できる人材の育成を目指します。

2. 実施概要

■テーマ

「メディアの未来」

メディアに関する様々なデータをもとに人間が求めるメディアを考え、新しいメディアのあり方を提案する

■応募資格

日本の高等学校、高等専門学校、大学、大学院に所属する生徒・学生（社会人経験者を除く）

■審査員長

村井 純 慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科委員長／環境情報学部教授

■評価の観点

課題発見	課題設定が明確化できているか
提供データ活用	提供したデータが適切に用いられているか
独自データ活用	必要なデータを取り入れられているか
データ解析	データを的確に解析できているか
アイデア提案	データにもとづいて新たなアイデアを生み出せているか
実現・継続性	実際に実現させ、継続できるものか

■本選発表会・審査会・表彰式

日時：2019年9月7日（土）13:30～18:30

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 北館 1F ホール

■主催

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ

3. 審査結果

今回は、39 チームから参加の申し込みがあり、そのうち 34 チームが予選にエントリーしました。予選審査を通過した 10 チームが本選発表会で最終プレゼンテーションを行いました。

■最優秀賞&高校生部門賞（※ダブル受賞）

チーム名：メディア・テクノロジー部

雨ニモ風ニモ負けない色白ガールズ
(富山国際大学附属高等学校)

テーマ：「あなたは笑顔でもっと幸せになれる
気分の変化を伝え、笑顔を増やす Smart Hand
Mirror」



■優秀賞

チーム名：TKG（東海大学）

テーマ：「指向性スピーカー付き信号機で STOP!!歩きスマホ」



■メディア・アナリスト賞

チーム名：山本 孔次郎（名古屋市立大学大学院）

テーマ：「次世代ソーシャルメディアの提案
～デジタルネイティブのメディア消費から探る～」



■未来創造賞

チーム名：河横（慶應義塾大学・東京都市大学）

テーマ：「Radio-Kai-Tai」



■審査員特別賞

チーム名：チーム真っ白（筑波大学大学院）

テーマ：「情報を『情報』に～健康情報の自分ゴト化～」



■入賞チーム（ファイナリスト） ※発表順

山本 孔次郎（名古屋市立大学大学院）

TKG（東海大学）

トップガン（東海大学）

未完成（仮）（千葉大学・早稲田大学・東京女子大学・津田塾大学）

河横（慶應義塾大学・東京都市大学）

あられ（実践女子大学）

メディア・テクノロジー部 雨ニモ風ニモ負けない色白ガールズ（富山国際大学付属高等学校）

ww.con（私立清泉女学院高校・私立和光高校・私立山手学院高校・神奈川県立横浜国際高校・私立聖ヨゼフ学園高校）

メロンライス（慶應義塾大学大学院）

チーム真っ白（筑波大学大学院）

詳細は、公式サイトをご覧ください。

第10回データビジネス創造コンテスト公式サイト <http://dmc-lab.sfc.keio.ac.jp/dig10/>



*本プレスリリースは、新聞各社社会部等に配信しております。

【本コンテストに関する問合せ】

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ事務局
e-mail : dig-info@sfc.keio.ac.jp

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当
e-mail : kri-pr@sfc.keio.ac.jp
TEL : 0466-49-3436
FAX : 0466-49-3594